

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、16～19℃台を示し、やや高い水温でした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網――月夜間とシケで出漁日数が少なかった。西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり4トンの水揚げで、前週の67%（前年を下回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の71%（前年を下回った）。
- イカ釣り――スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり3kgの水揚げで、前週の6%（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり40kgの水揚げで、前週の3%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり24kgの水揚げで、前週の60%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり20kgの水揚げで、前週の3%（前年を下回った）。
- 定置網――五島有川地区では、マアジなどが1日1統当たり61kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり370kgの水揚げ。北松生月地区では、ブリなどが1日1統当たり1.1トンの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり227kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり91kgの水揚げ。
- 一本釣り――北松宇久地区では、イサキが1日当たり173kgの水揚げで、前週の4.3倍（前年を上回った）。北松小値賀地区では、イサキが1日当たり12kgの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- 延縄――北松小値賀地区では、キダイなどが1日当たり74kgの水揚げで、前週の1.9倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（4/20日～4/24日の5日間）沖合イカ釣り船、船凍船は切揚げ休漁となった。

沿岸イカ釣り（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～隠岐海峡～鳥取沖～兵庫沖にかけて出漁した。鳥取県漁協境港支所 入港船なし。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

次回の漁海況週報は、令和元年5月10日（金）の発行になります。

漁海況通信「第31-10号 長崎県周辺海域の海面水温（4月号）・第31-11号 3月に実施した五島灘/五島西沖の観測結果・第31-12号 3月に実施した壱岐水道/対馬東水道の観測結果」を長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」に掲載しています。

「漁海況情報」から漁海況週報や漁海況通信をご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>